

第 2 回 定 例 会

教 育 行 政 報 告

令 和 5 年 6 月

北 広 島 市 教 育 委 員 会

令和5年第2回定例会の開会にあたり、教育行政報告を申し上げます。

1 令和5年度における学校教育の状況について

まず始めに、令和5年度における学校教育の状況についてですが、4月7日に新小学1年生417名、新中学1年生460名を迎え、小学生2,716名、中学生1,467名で新年度をスタートしたところがあります。

今年度の学校教育推進の重点につきましては、本市の特色ある教育として6年目を迎える小中一貫教育の「漸進」としているところがあります。

漸進とは一歩ずつ確実に進歩する意味であり、義務教育9年間の学びを通して、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた「生きる力」を育ててまいります。

なお、国において、5月8日に、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことから、北海道教育委員会からの通知に基づき、換気や手洗いといった日常的な感染対策は継続しながら、子どもたちが安心して充実した学校生活を送ることができるよう支援しているところがあります。

2 学校適正規模・適正配置検討事業について

次に、学校適正規模・適正配置検討事業についてですが、5月30日に令和5年度北広島市立学校適正配置等審議会の第1回会議を開催し、小中一貫教育の更なる推進を図るための方策及び西部地区における今後の小・中学校の在り方についての議論を深めたところがあります。

今後、審議会からの答申を踏まえ、引き続き保護者や地域と丁寧な議論を積み重ねてまいりたいと考えているところがあります。

3 コミュニティ・スクールの全市展開について

次に、コミュニティ・スクールの全市展開についてであります。令和5年4月、新たに東部、西の里、広葉中学校区でコミュニティ・スクールがスタートし、5月に開催された第1回目の学校運営協議会におきまして、目指す子ども像や本年度の学校における教育方針等が確認されたところであり、市内全ての中学校区において小中一貫教育と一体となったコミュニティ・スクールが導入されたところであり、

今後、学校・家庭・地域が協働した「地域とともにある学校づくり」を進めてまいります。

4 Fビレッジハーフマラソンの開催について

次に、Fビレッジハーフマラソンの開催についてであります。これまで「きたひろしま30キロロードレース」として実施しておりましたマラソンイベントから、北海道ボールパークFビレッジを発着場とした新たなコースで、6月18日に開催するものであります。

全国、全道、市内から5,540人のランナーが集い、大会を支える運営ボランティア435人を含めると、本市では過去最大となる約6,000人規模のスポーツイベントとなるものであります。

大会当日は、コースとなります北海道ボールパークFビレッジ内及びアンビシャス通り等の周辺道路やエルフィンロードに交通規制を実施させていただきますことから、広報や町内会回覧等にて周知するとともに周知看板を設置し、ご理解とご協力をお願いしているところであります。

5 寒地稲作成功150周年記念事業について

次に、寒地稲作成功150周年記念事業についてであります。明治6年、中山久蔵翁が島松の地で寒地稲作を成功させてから節目の150周年を迎えますことから、庁内の関係部署と連携し、市民有志による実行委員会とともに各種記念事業の実施に向け準備を進めているところであります。

まず、市民等への周知としまして、市役所本庁舎に懸垂幕を掲揚するとともに、国道36号大曲地区歩道橋へ横断幕を設置してまいります。

また、久蔵翁の故郷である大阪府太子町への小中学生派遣、9月23日の記念フォーラムの開催や、中山久蔵翁を題材とした偉人マンガ作成等を予定しているところであります。

さらに、寒地稲作成功150周年記念事業の関連事業として、中山久蔵翁の半生を描いた市民参加型の創作演劇を芸術文化ホールにおいて2月に上演を予定しているところであります。

6 防災食育センター整備の進捗について

次に、防災食育センター整備の進捗についてであります。防災機能と食育機能を併せ持つ複合施設としての整備に向けて、昨年7月より各工事に着手し、これまでに基礎部分を終え、現在鉄骨の組立を行っており、5月末時点の建築主体工事の進捗率は約30%となっているところであります。

今後につきましても、外構整備工事等に着手するほか、引き続き、令和6年5月末の完成を目指し工事を進めてまいります。

以上申し上げます、教育行政報告といたします。